

地域における国公有財産の最適利用(山梨県富士川町)

～ 国の合同庁舎と町立図書館の合築整備～

○ 事案の検討が始まった契機

平成18年1月に旧社会保険鵜沢病院跡地等を活用して国土交通省のシビックコア地区として「鵜沢町(現:富士川町)シビックコア地区整備計画」を鵜沢町が策定。

○ 基本方針等

町内に分散する行政機関を富士川地方合同庁舎を整備のうえ集約立体化させるとともに、町立図書館との合築をする。合同庁舎敷地については、町有地と国有地との交換により確保する予定。

○ 事案のポイント

富士川町は、「シビックコア地区整備計画」に基づき、町の中心市街地に国の官署と町立図書館を合築整備することにより、地域交流・活性化・情報発信等の拠点となる賑わい空間を創出するまちづくりを図る。

国は、老朽や狭隘が進み、町内に分散している行政機関を集約立体化することにより、老朽・狭隘の解消と総合的な耐震安全の確保、国民利便性の向上を図る。

○ 施設の概要

所在地 山梨県南巨摩郡富士川町1760番-1外2筆

延床面積 5,545㎡(うち国4,018㎡、町1,527㎡)

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地上5階

入居官署

国：甲府地方法務局鵜沢支局

甲府地方検察庁鵜沢区検察庁

鵜沢税務署

鵜沢労働基準監督署

鵜沢公共職業安定所

町：富士川町立図書館

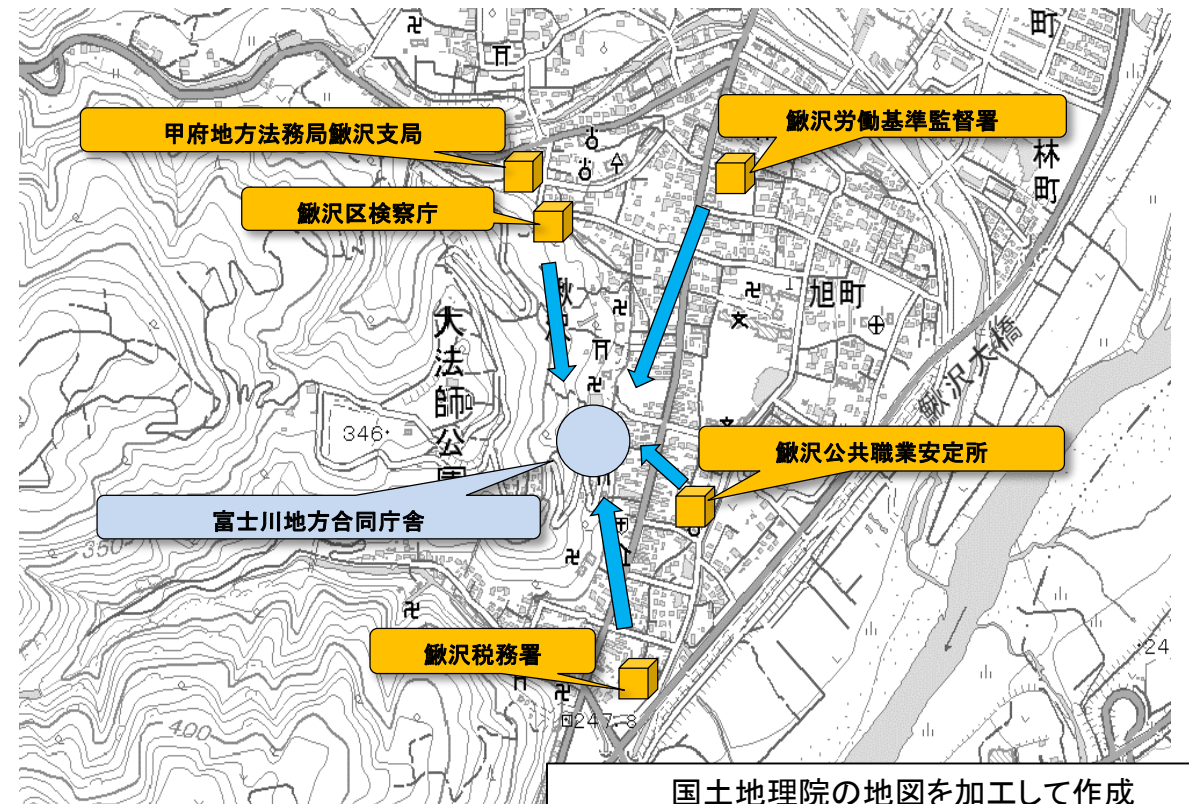
○ 整備スケジュール

敷地調査、設計 平成29～30年度

建設工事 平成32～34年度

新庁舎使用開始 平成34年度以降

庁舎等移転図



国土地理院の地図を加工して作成